AEON
イオン環境財団

木を植えています
未来の子どもたちのために

自然とともに
生きる。

ご挨拶

公益財団法人イオン環境財団は、1990年に岡田卓也（現イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて、地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として設立されました。

代表的な事業活動が植樹で、ボランティアの皆さまとともにアジアを中心とした世界各地で植樹した本数は、累計1,255万本を超えました。伐採や自然災害等で荒廃した地域は、植樹によりみどりが再生し、多様な生物が宿る、いのちあふれる森になっています。

設立30年を機に、「イオンの森づくり」に次ぐ新たな取り組みとして、「イオンの里山づくり」をはじめました。人々が共有の資産として活用しながら守ってきた身近な自然であるところの里山は経済成長や社会変化の中で荒廃が進んでいます。

私たちは、人と自然が共生する持続可能な新しい関係性を構築したいと考えています。昔ながらの里山のみでなく、未来に向かって、里山の保全・利活用が、地球環境・人と生活・地域社会の持続性に結びついていく「新しい里山」の構築を目指します。

公益財団法人イオン環境財団
理事長
岡田元也

「新しい里山づくり」に関する大学連携

第2回イオン東大里山ラボシンポジウム（東京大学安田講堂）

早稲田大学

2020年に共同でAEON　TOWAリサーチセンター設立。地域毎の活動研究をはじめ、イオン環境財団寄付講座を設置しています。

東北大学

2021年にイオンモール株式会社と三者で「イオン防災環境推進協働研究部門」を設立。レジリエント・コミュニティ創生に向け、防災・減災・杜のデザイン等について研究しています。

東京大学

2022年に共同で「イオン東大里山ラボ」を設立。自然と健全に共生する人間社会の創造について研究しています。

京都大学

2022年にフィールド科学教育研究センターと共同で「新しい里山・里海共創プロジェクト」を開始。森里海連環学に基づく新しい里山・里海の共創に向けた取り組みを開始しています。

2023年度の主な植樹計画

三重県伊賀市	4月8日（土）
島根県松江市	4月22日（土）
北海道南富良野町	5月20日（土）
宮城県亘理町	6月18日（日）
宮城県石巻市	9月23日（土）
宮崎県綾町	10月7日（土）
北海道厚真町	10月21日（土）
千葉県君津市	10月28日（土）
滋賀県甲賀市	11月12日（日）
千葉県旭市	12月9日（土）
マレーシア・ビドー	5月20日（土）・21日（日）
インドネシア・ジャカルタ	8月5日（土）

公益財団法人
イオン環境財団
〒261-8515 千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL.043-212-6022　FAX.043-212-6815
E-mail ef@aeon.info
https://www.aeon.info/ef/

ホームページ　Facebook
Instagram　LINE

VEGETABLE OIL INK
FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C005531

2023.5

植 樹（イオンの森づくり）

自然災害や伐採などで失われた森林の再生を目指し
行政と連携して市民ボランティアの皆さまと植樹をしています。

日本を含む **11** か国

累計植樹本数 約 **1,255** 万本

世界各地での植樹例

消失した森林の再生（中国・万里の長城）

海岸防災林づくり（宮城県・石巻市）

都市防災林の再生（インドネシア・ジャカルタ）

里山の再生（宮崎県・綾町）

いこいの場づくり（ベトナム・ハノイ）

助 成

環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して
毎年総額1億円の公募助成を行っています。

累計助成団体数 **3,333** 団体

累計助成金額 **30** 億 **2,961** 万円

※第1回1991年度～第32回2022年度（2023年5月現在）

第33回（2023年度）助成公募概要
テーマ：「里山コモンズの再生」
応募期間：2023年6月1日（木）～7月31日（月）

第31回助成先団体の活動例

里海の保全・維持・管理（［特非］アーキペラゴ）

里山の保全・維持・管理（あびこ谷津学校友の会）

植樹を含む里山の修復（吉田山の里山を再生する会）

自然資源の利活用（（特非）朝霧森林倶楽部）

自然環境教育（（特非）モンゴル環境情報センター）

環境教育

環境課題に自ら取り組む人材の育成を目指して
さまざまな気づきや学びの場を提供しています。

アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）（2012年～）
参加：日本を含むアジア10カ国の10大学より763名

太陽光発電システム寄贈（2009年～）
寄贈先：日本を含むアジア4カ国56校

活動例

アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）

太陽光発電システム寄贈（高知市立城西中学校）

「イオン エコワングランプリ」特別交流事業
（青森県立名久井農業高校と沖縄県立辺土名高校）

町が生まれ
森が広がる
―岡田卓也の
ものがたり―
（講談社）

夢のある
未来をつくる
SDGs
ハンドブック

パートナーシップ・顕彰

専門性の高いステークホルダーと連携して
環境課題に取り組んでいます。

- 日本ユネスコエコパークネットワーク（JBRN）
- 認定（特非）日本ジオパークネットワーク（JGN）
- （一財）リモート・センシング技術センター（RESTEC）

「イオン生物多様性みどり賞」を設立し
顕著な功績が認められる個人・団体を顕彰しています。

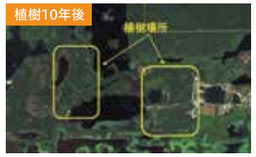
活動例

第7回イオン生物多様性みどり賞受賞式

エコツアー（JBRN）

環境展示（JGN）

森の炭素蓄積量調査（RESTEC）



モニタリング（RESTEC）

※（特非）は特定非営利活動法人の略、（一財）は一般財団法人の略です。